資料　都-6①
みどり政策課

水前寺江津湖公園利活用・保全計画中間見直し（素案）に関するパブリックコメントの結果について

意見募集期間

令和8年（2026年）3月18日（水）～ 令和8年（2026年）4月17日（金）

意見に対する市の対応

対応内訳	対応方法	件数
対応１（補足修正）	ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	1
対応２（既記載）	既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	1
対応３（説明・理解）	市としての考えを説明し、ご理解いただくもの	0
対応４（事業参考）	素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事として今後の参考とするもの	1
対応５（その他）	素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの	2

意見の提出状況

・意見を提出された方の人数：5名
・意見の件数：5件

公表方法

・熊本市ホームページ掲載
・縦覧
（みどり政策課窓口
動植物園内
緑の相談所
水前寺江津湖公園広木地区管理棟）

意見の募集方法

LoGoフォーム、電子メール、郵送

提出された意見と、それに対する本市の考え方

番号	頁数	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
1	計画案 P39	4　計画の内容 基本方針②生物多様性の保全及び自然と人との共存・共生	p39「4 計画の内容」にある基本方針②「生物多様性の保全及び自然と人との共存・共生」に関して、基本施策3の「江津湖の豊かな自然環境と資産・資源の活用を両立し自然と人との共存・共生を図ります」という表現は、すこし分かりづらい印象がある。また、この基本施策に対応する「主な取組」の内容もイメージしにくいように感じた。	いただいたご意見をもとに、分かりやすい表現に修正いたします。	対応１（補足修正）
2	計画案 p42	4　計画の内容 基本方針⑤ポテンシャルを活かした空間の利活用・回遊性の抜本的向上	公園利用の課題として「施設の老朽化」や「施設の追加」が挙げられているが、現状の方策は遊具やレジャー施設に偏っているように見える。一方、アンケート結果からは利用者が求めているのは自然と触れ合いながらゆったり過ごせる休息の場であることが分かる。実際の公園利用でも、特別な施設よりも静かに過ごす空間が求められている。 しかし、現状は座る場所が少なく、休憩できずに車に戻らざるを得ない状況がある。そのため、公園の魅力を高めるには新たな施設よりも、椅子やベンチを十分に設置し、気軽に休める環境を整えることが重要である。	いただいたご意見と同様に、休憩スポットの重要性について認識しており、基本方針⑤において休憩施設の追加に取組む。	対応２（既記載）
3	計画案 p25、p44	3　現状と課題 (5)利用者の減少 4　計画の内容 基本方針⑤ポテンシャルを活かした空間の利活用・回遊性の抜本的向上	水前寺江津湖公園の利活用計画に対し、日常利用者の立場から、利用環境の改善が重要である。公園は高い価値を持つ一方、日常的な整備不足が利用者減少の一因と考えられる。 具体的には、犬のマナー問題に対しては管理可能な範囲でのドッグラン整備を提案し、全体への影響を抑えつつマナー向上を図って欲しい。また、駐車場については混雑や安全面の課題から、事前予約制やゲート管理の導入を提案し、利便性と効率性の向上を目指す。さらに、ゴミや雑草などの管理不足に対しては、地域や市民と連携した協働型の維持管理とインセンティブ制度の導入を提案する。 総じて、新たな集客施策よりも、安心して日常利用できる環境整備と持続可能な運営の重要性を指摘している。	江津湖公園の利活用については、アンケートにおいても様々なニーズを把握している。 特に、駐車場拡充及び運営方法の検討の必要性（基本方針⑦）や多様な主体による持続的な経営・維持管理（基本方針⑤）についてもその重要性を認識しており、今後の事業実施段階において参考とする。	対応４（事業参考）
4	計画案 p42	4　計画の内容 基本方針⑤ポテンシャルを活かした空間の利活用・回遊性の抜本的向上	日頃から感じている提案として、砂取・神水側と出水・江津側を結ぶ「飛び石」を湖内に設置して欲しい。これにより散歩コースが増え、図書館や青年会館へのアクセスも向上する。交通量の多い狭い歩道を避けて安全に移動できる利点もある。さらに、景観面でも魅力が高まり、魅力的な公園づくりにつながると考えている。	江津湖公園のポテンシャルを活かした空間の利活用や回遊性向上に向けたアイデアとして今後の検討に生かす。	対応５（その他）
5	計画案 p44	4　計画の内容 基本方針⑦持続的な公園経営・次世代の担い手の育成	水前寺成趣園を愛用している立場から、公園内に空き店舗が多い現状をもったいなく感じている。そこで、元鰻屋の店舗に大手コーヒーチェーン店を誘致し、さらに南門付近の空き店舗にも人気のドーナツ店など集客力のある店を導入することを提案する。 大手コーヒーチェーン店は海外からの観光客にも馴染みがあり利用しやすいため魅力的であり、既存の和風建築を活かした店舗にすることで水前寺らしさも演出できると考えている。また、こうした店舗誘致により観光客だけでなく地元住民の来園も増え、公園周辺の活性化につながる。	水前寺公園の利活用やにぎわい創出に関するご提案として、今後の参考とする。	対応５（その他）